

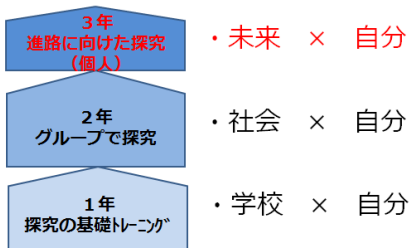
総合的な学習の時間「閑谷學」3年次実践紹介

担当者：3年次団探究担当者
 学年：3年
 単元名：総合的な学習の時間

年間目標

閑谷學3年間の流れ

活動の機会を広げる → 経験する → 自分を知る



- ①今の自分と、未来の社会(自分)をつなげ、社会や自分自身の未来について自分なりの考えを持つことができる。
- ②3年間の閑谷學のまとめとして、これまで学んだりサーチの方法や表現方法を使って、自分の考えを論理立てて表現することができる。
- ③卒業論文を作成し、3年次生全員の論文集を作成する。

探究学習の流れ

4月

全員面談

卒業研究テーマ仮決定

所属ゼミ決定



ゼミでは担当の先生のほか、外部講師による個別指導をうけた

5・6月

卒業研究テーマ決定

調査・探究前半

7・8月

夏期調査

卒業研究論文初稿作成



卒業論文の作成に向けて作業している様子

9・10月

調査・探究後半

探究まとめ



発表会では各生徒がなるべくメモを見ずに自分の言葉で説明した

11月・12月

卒業研究論文最終稿作成

卒業研究発表会

評価基準・方法

- 自身の進路(または社会)に対する問題意識はあるか → 個人面談、探究理由書による評価
- 調査・探究からの発見や課題について → 毎回の授業で記入するふりかえりシートによる評価
- 卒業研究論文における自己表現力 → 探究動機・手法・結果、結論の内容による評価
- プレゼンテーションにおける自己表現力について → 発表参観用コメントシートによる評価

探究活動を通して身につけてほしいこと

- ・他者を思いやる心(恕)
- ・物事のつながりを理解し、問題の根本を認識する力
- ・自分の言葉で物事を説明する力
- ・物事を多面的に捉え考える力
- ・社会の問題を発見し、解決に向けて努力する姿勢
- ・自己を理解し、社会における自らの役割を考える姿勢

・気をつけたこと
 何について探究して、人が「なるほど」となるようなことを調べたり、自分は常に物事だけでなく、なぜかあることの探究の意味をしっかりと知ること。

・それに向けて取り組んだこと
 インターネットや本上りの詳しい情報やわからないことがたくさんあるため、自分がわからないことを先生に積極的に聞いて、新しい発見や並に思いつけた。

・その結果どうなったか
 1年間の探究の意味を身をもって知ることができた。自分の力でいろいろなことを調べ、多岐にわたる学校の課題や社会的な意味が自分自身で思いつくこと、一度しか取り扱って、夢中になって探究している自分だと感じ、大人になると物事を探究することは、自分でできない、自分の考えや意見を発表する場があるということはとても貴重な経験だと思つた。この経験が、自分がやりたいことや好きなことを見つかることだとして、今後の自分につながりたい。

生徒からの探究学習ふりかえり (一部抜粋)

実践の背景

- 3年次生が自らの進路決定をするうえで、現時点で自分が目指す将来について考え、そのために必要な知識や能力について考える機会を設ける必要がある。また、自己理解を促すことで、今の自分の長所や短所を認識し、進路に向けたより具体的な意識の醸成が可能となる。よって、探究学習では、自分の希望する進路について調査・探究を行い、理想の自己像と現実との乖離を省察することで、現実的かつ能率的な進路決定を目指す。

授業改善のアプローチ

- 自分の言葉で語るには、実世界での経験を通じた自己理解が必要である。そのために、教職員との面談や社会人とのインタビュー機会を設けるなど、他者との関わりを増やした。また、言語活動の促進として、毎授業後には、ふりかえりシートを配付し、調査・探究から分かった発見や課題を自らの言葉でまとめ、各ゼミ担当に提出させた。探究手法は学術的なものとし、卒業研究論文では、参考文献や聞き取り調査などの情報について引用を正確に載せる指導を行った。

単元のヤマ場となる授業場面

全員面談

全生徒が教員と約10分の面談を行った。面談では、将来目指す自己像のほか、自己の現実について自らの言葉で表現する機会を設けた。また、面談まで待機している生徒やすでに面談を終わらせた生徒は、教職員3人による「人生における私の体験談」を聞く機会を設けた。生徒にはワークシートを配付し、教職員のこれまでの人生経験から得た考え方や自己認識について考えた。生徒の進路に対する疑問や不安について教職員・生徒間で共有したほか、他者の経験をロールモデルとして個人の可能性について考える機会を設けた。その結果、社会的コンテキストにおける生徒の自己理解の促進に貢献した。

全員面談における評価法：3年次生探究テーマ記録票

平成30年4月20日
総務指導課
3年次開谷学・LHR委員会

3年次生探究テーマ記録票

3年()コース/組()番氏名()

1 希望進路について

進学(四大・短大・専門)志望者用

形式科学(数学・統計学)

自然科学(物理学・宇宙科学・地球惑星科学・化学・生物学)

社会科学(政治学・法学・経済学・経営学・社会学・教育学)

人文学(哲学・宗教学・言語学・語学・人類学・考古学・歴史学・地理学・文学・芸術・心理学)

応用科学(計算機科学・工学・農学・医学・介護・福祉・歯学・薬学・理美容・その他の健康科学)

未定

その他:

●第1志望校名: _____ (_____ 学部 _____ 学科)

理由: _____

●将来就きたい仕事: _____

理由: _____

2 開谷学で探究するテーマ: _____

テーマを選んだ理由: _____

その他特記事項メモ欄

	A	B	C
主張	一貫性があり具体的である	一貫性はあるが具体性がない	一貫性も具体性もない
表現	内容を理解でき説得力がある	内容は理解できるが説得力がない	理解出来ない

平成30年4月20日
総務指導課
3年次開谷学・LHR委員会

3年次生探究テーマ記録票

3年()コース/組()番氏名()

1 希望進路について

進学(四大・短大・専門)志望者用

形式科学(数学・統計学)

自然科学(物理学・宇宙科学・地球惑星科学・化学・生物学)

社会科学(政治学・法学・経済学・経営学・社会学・教育学)

人文学(哲学・宗教学・言語学・語学・人類学・考古学・歴史学・地理学・文学・芸術・心理学)

応用科学(計算機科学・工学・農学・医学・介護・福祉・歯学・薬学・理美容・その他の健康科学)

未定

その他:

●第1志望校名: _____ (_____ 学部 _____ 学科)

理由: _____

●将来就きたい仕事: _____

理由: _____

2 開谷学で探究するテーマ: _____

テーマを選んだ理由: _____

その他特記事項メモ欄

	A	B	C
主張	一貫性があり具体的である	一貫性はあるが具体性がない	一貫性も具体性もない
表現	内容を理解でき説得力がある	内容は理解できるが説得力がない	理解出来ない